

## 輝山北東尾根

10.1.23(晴れ後曇り)

メンバー:菊地

まだ1月で積雪量に不安もあるが、以前から気になっていた輝山北東尾根に行く事にした。

アプローチの貝塩林道は除雪されない為50cm程の雪が積もっているが、締っていて昨晚の降雪も僅かの様でスキーは殆ど潜らない。静かな林道を1時間程歩くと終点となりその辺から斜面を回りこんで支尾根に取り付いたが、スキーで上がるにはかなりの痩せ尾根で傾斜も急だった。地図を見るともう少し奥の尾根の方が登り易そうだが、もう登りだしていたのでそのまま尾根を登る事にした。側面も使いながらシール登行するが、シーズン始めから急傾斜の際どいキックターンの連続を強いられ早くも修行ムードが漂う。なんとか主稜線まであと僅かの場所まで着たが、さすがにシール登行も限界でつぼ足に切り替える。スキーでは殆ど割れなかった中途半端なクラスト面が割れ、足が膝上まで潜ってしまう。スキー以上に効率が悪いので再びスキーを履く。

何とか主稜線の1540mまで上がったが、既に時間は正午で斜面は年末年始のドカ雪が雪崩たのか、何処もデブリだらけでモチベーションは一向に上がらない。明日もあるので今日

はこの辺にしておこう。

主稜線上はある程度広さもあって良かったが、支尾根サイドの斜面に入ると硬いデブリに覆われ更に倒木なども完全に埋まってない。降りるにつれデブリの密度も増し予想通り修行の滑となった。

林道に合流して来た道を戻る。トレースがあれば殆ど滑って行け、途中僅かな登り勾配もあるがシールなしで行けた。フカフカパウダーを期待して来たが、パウダーには恵まれず超修行的ツアーとなったが、次回訪れる事が有れば、もう少し遅い時期に南面から登りこちら側に降りるルートを取りたい。

コースタイム:

林道起点8:30 ~ 林道終点9:30 ~  
北東尾根1540m12:20 ~ 林道終点13:20 ~ 林道起点14:00

地形図:焼岳